WA!

No.8

広島市民球場の想い出

小学生の頃から、父に広島市民球場に連れて行ってもらっていた。万年Bクラスの低迷期からS50年初優勝！そして4度のリーグ制覇、3度の日本一に輝く赤ヘル黄金期にかけての応援である。

近年は私が赤いメガホン片手に、我が子を誘って球場に出向き応援している。ラストイヤーの晩秋に、ご縁あってグランド内に降り立った。子どもは満面の笑みで、マウンドにあがっている。見上げるとスタンドまでの距離が近く観客（見学）の顔も間近に良く見える。

カープはクライマックス・シリーズには手が届かなかったが、後半の躍進はファンからの熱い応援があってのものだ。

新球場（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島）にホームグランドが変わっても、一体感のある応援は続いて欲しいと願う。

少年教化に於いては「キッズサンガ」という取り組みが進められている。

様々な立場・世代の方々も、お寺（仏の子）にかかわろうという活動である。アイデアに幅がありすぎてハッキリと形が見えにくいが、阿弥陀さまとのご縁づくりには違いはない。世代を超えたあらゆるサポートを大切にしたい。

第四十一回報恩講子ども大会

平成二十年十月十八日（土）に「第四十一回報恩講 子ども大会」が別院において開催された。

今年は約四百名の参加があり、子ども達の元気な声で別院全体が包まれた。

開会式では各単位会の代表の子どもが、それぞれに作製したプラカードを持って入場し、参加単位会の紹介があった後、順教土曜学校の吉川京香さんが調声をし、全員で『らいはいのうた』を唱和した。

続いて渡邊幸司（佐伯東組光乗寺）先生よりご法話があり、「すなおにみ教えを聞く」ことの大切さをお話していただいた。

その後、恒例の「わいわいランド」では「ジョウドウ券」を手にした子ども達が、それぞれお目当ての食事やゲームコーナーで楽しいひとときを過ごした。

「わいわいランド」終了後、本堂に場所を移し、「シャンピーバルーンアートチーム」による風船を用いた楽しいショーが行われた。

おとぎ話の世界から出てきたようなピエロの格好をしたメンバー達が、細長い風船を手際よく折り曲げて、動物やミッキーマウス、そして報恩講にちなんで親鸞聖人像など、さまざまなものを作りあげ、会場からは驚きと歓声があがった。

また、参加者一人々々に風船が配られ、実際にバルーンアートを体験できるという思いがけない一幕もあり、子ども達は悪戦苦闘しながらも、バルーンアート作りに熱中した。

閉会式終了後、境内ではバルーンチームのピエロのみなさんと記念写真を撮る子ども達の姿が見られ、別院での楽しい一日となった。

ぼくもわたしも キャンディー一個分を

安芸教区少年連盟では、報恩講子ども大会で集まったキャンディー募金をDIC（ダーナ・インターナショナル・センター）に寄付させていただいております。

DICは海外の仏教徒の援助支援・交流を目的として平成二年以来活動をしている団体です。

DICの起こりは昭和五十三年に、広島県北部の浄土真宗のお坊さんがインドのお釈迦さまの遺跡にお参りし、ネパールのカトマンズを訪れたおり、チベット難民のガデン・チョップリング・チベット寺院に立ち寄ったことから始まりました。

インド バンダラの新仏教徒寺院「禅定林」の子ども達を支援

昨年の北京オリンピックに関連してニュースになりましたが、チベット（現在は中国のチベット自治区）は、昭和二十四年に中国の軍事侵攻を受け併合され、仏教信仰・文化伝承を実質的に制限されています。

この中国との武力衝突で大量の死者を出し、これ以上の惨事を避けるため、昭和三十四年、ダライラマ法王（チベット仏教の最高指導者）の政府はインドに亡命しました。

法王とともに、インド・ネパールに亡命して暮らしている十万人以上の仏教徒がチベット難民です。彼らはチベットの仏教文化を護るために、国を離れ、いつかチベットに戻ることを目指して生活されておられます。そのためには、チベットの仏教・文化・言葉を失うわけにいきません。難民として生まれてくる若い人たちにチベット仏教文化を教育することが必要です。

この時に立ち寄ったお寺は、その地域のチベット難民の教育センターでもあったのですが、子ども達が恵まれない環境にもかかわらず、熱心に勉強している姿を見て、お手伝いをしようと支援金を募り、昭和六十年に「マハーヤーナ Buhddist Progressive Education センター校（大乗仏教教育学校）」が誕生しました。

カトマンズ MYBPE センター（大乗仏教教育学校）の生徒たちと

DICの活動はこの学校を継続させることと、もっと広く、海外仏教徒の支援をすることを目指して始まりました。

以来、インド・ネパールのチベット難民の教育・生活環境改善の支援、またインドバンダラ新仏教徒の医療、教育支援などを中心に、毎年支援金を送り続けておられます。

皆様の浄財が大切に生かされている事の報告とともに、キャンディー募金のご協力をお願いいたします。

即効、レクの素！ DVD

指　導：九州あそびの研究所
所　長　中島　宏 氏

平成19年度安芸教区少年連盟後期学習会の模様をDVDにまとめました。

貸出し希望の方は
教務所　少年連盟担当まで
☎ 082(231)0302

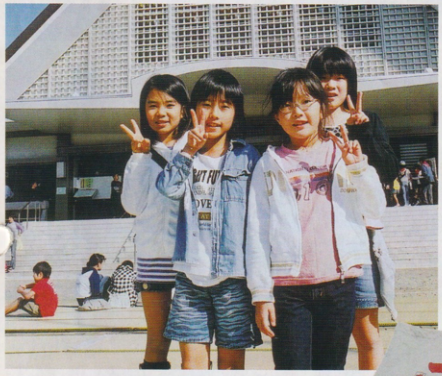
photo ギャラリー

プラカード入場　緊張の本番前

ピエロのバルーンアート

ピエロのみなさんと記念写真

報恩講子ども大会百態



おそろいのポーズで

カープのシャツがかっこいい

大人気のビーズ作り

何のそうだん

●皆様からの少年連盟への情報やニュースを募集いたします（教務所 kyouku@aki.or.jp まで）

発行日／平成21(2009)年2月21日　発行所／安芸教区少年連盟　広島市中区寺町1-19 本願寺広島別院内　代表者 委員長 鷹谷直至